新島学園　東京大学合格を果たした卒業生による特別対談

正反対の二人が語る 東大への道と 自由な学園生活

新島学園から東京大学へと進学を決めた、判治航さんと大泉摩周さん。同じ新島学園で過ごしたお二人に、受験から未来への展望までを語り合っていただきました。

東大を目指した意外すぎるきっかけ

――まずはお二人が東大を目指したきっかけから。判治さんは中3の頃から意識していたそうですね。

判治さん　はい。もともと小学生の頃から法学部を目指していて、中学生までは漠然と同志社大学へ指定校推薦で進学しようと考えていました。でも中3の時、学校の勉強に少し物足りなさを感じて、当時の担任だった久保先生に相談したら東進の模試を勧められたのです。その結果を見た予備校の先生に「東大を目指せる」と言われ、せっかく受験するなら一番を目指した方が楽しいかな、というノリで学校の勉強に加えて東大の受験対策を始めました。

大泉さん　僕も似たような感じです。小学生の時、兄が大学受験で「兄よりいい大学に行こう」と思ったのが始まりでした。親に「一番頭がいいのはどこ？」と聞いたら「東大」と言われたので、「じゃあかっこいいし東大に行こう」と。最初は理科三類を目指していましたが、メンタル面や働き方を総合的に考えて理科一類に変えました。

――合格発表の瞬間はどうでしたか？

大泉さん　パソコンで自分の番号を確認した時は「よっしゃ！」とテンションが上がりましたね。

判治さん　僕は意外と冷静でした。もともと「どっちでもいいかな」くらいのスタンスで、落ちたら受かっていた大学に行くつもりでしたし、気負うことも緊張感もあまりなかったです。

「朝型・集中」vs「夜型・ラジオ」の勉強法

――お二人の勉強スタイルは、かなり個性的だと伺いました。

判治さん　僕は徹底した朝型です。朝5時か6時に起きて、夜9時にはパタッと勉強をやめて10時には寝る生活です。実家が自営業なので、リビングで両親が仕事の話をしている中で勉強する方がむしろ落ち着いて集中できました。授業も居眠りや内職は一切せず、全てが将来に役立つと思って真面目に聞いていました。

大泉さん　僕は真逆で、浪人中は深夜3時まで友達とゲームをして昼前に起きる生活でした。塾には行かず、ラジオを聴きながら自習室で集中するスタイルです。現役時は学園においては自分のペースで勉強していました。でも新島の先生方は「すごく先の勉強をしているね」と声をかけてくれ、自由を尊重してくれました。

――新島学園での生活で、特に心に残っている思い出は何ですか？

大泉さん　行事も楽しかったですけど、やっぱり日常ですね。友達が自転車でやってきて、「パピコ1個余ったからやるわ」と半分こして食べたこととか。そういう何気ない日々が、今でも心に残っています。

判治さん　山岳部では部長をしていましたが、個性がバラバラな部員たちをまとめるのが楽しかったです。登山を通してつけた忍耐力は受験でも役立ちました。また、高3の学園祭で友人と役割分担をしてやり遂げた達成感も大きな財産です。

大泉さん　僕は天文部で、一番楽しそうだったので入りました。合宿でも星を見るだけでなく、望遠鏡で街なかを眺めて看板を探したりゲームをしたり……本当に自由でした。

判治さん　実は僕も最初は天文部を覗いたのですが、がっつり部活をしたかったので他の部活を検討し、後に山岳部へ行きました。

東大ならではの刺激が未来への道を広げる

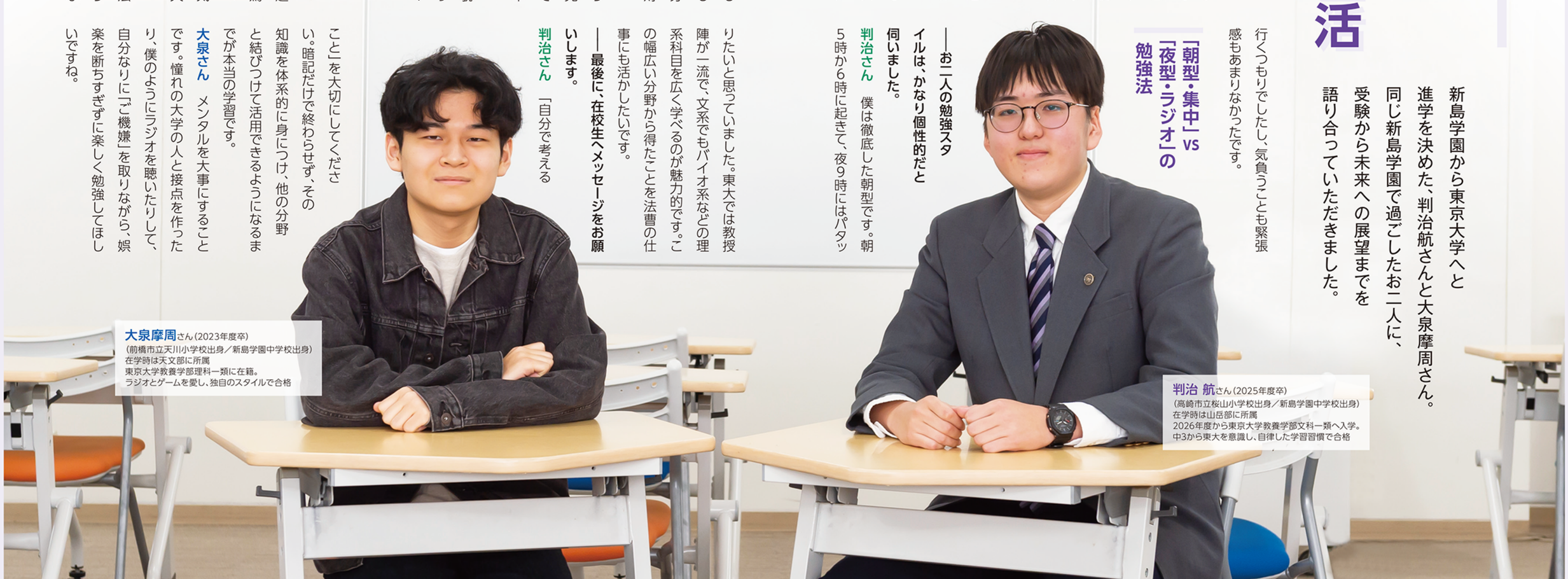
大泉さん　東大の周りの人たちは、「超人」だらけです。5カ国語話せる人や驚異的な暗記力を持つ人がゴロゴロいて、毎日刺激をもらっています。将来は、気まぐれで受講して以来興味が湧いた、天文学を深めていきたいですね。

判治さん　僕は司法試験に合格して法曹になりたいです。苗字が「判治」ということもあって、小学生の頃から判事になりたいと思っていました。東大では教授陣が一流で、文系でもバイオ系などの理系科目を広く学べるのが魅力的です。この幅広い分野から得たことを法曹の仕事にも活かしたいです。

――最後に、在校生へメッセージをお願いします。

判治さん　「自分で考えること」を大切にしてください。暗記だけで終わらせず、その知識を体系的に身につけ、他の分野と結びつけて活用できるようになるまでが本当の学習です。

大泉さん　メンタルを大事にすることです。憧れの大学の人と接点を作ったり、僕のようにラジオを聴いたりして、自分なりに「ご機嫌」を取りながら、娯楽を断ちすぎずに楽しく勉強してほしいですね。



判治 航さん（2025年度卒）
（高崎市立桜山小学校出身／新島学園中学校出身）
在学時は山岳部に所属
2026年度から東京大学教養学部文科一類へ入学。
中3から東大を意識し、自律した学習習慣で合格

大泉摩周さん（2023年度卒）
（前橋市立天川小学校出身／新島学園中学校出身）
在学時は天文部に所属
東京大学教養学部理科一類に在籍。
ラジオとゲームを愛し、独自のスタイルで合格